

# 令和7年度学校経営計画書

学校名 三次市立三和小学校

校長名 佐々木 孝

## I 学校の状況

学級数	7学級	児童・生徒数	56人	教職員数	12人
メールアドレス	miwa-e@school.miyoshi.hiroshima.jp				
ホームページアドレス	http://www.school.miyoshi.hiroshima.jp/elementary/miwa				

## II 学校教育目標

<p>【小中一貫教育目標～みよし結芽人～】 「高い志をもち 夢と目標の達成に向けて 挑戦する三和の子ども」の育成 【三和小学校教育目標】 「自分らしさを育てる ～ 気付く・伸ばす・磨く～」 ○自分らしさを育てる子 ・気付く…ともに学び合い、考えを伝え合うなかで、自分らしさに気付く。 ・伸ばす…目標を立て、主体的に行動するなかで、ともに自分らしさを伸ばす。 ・磨く…学びを「つなぎ」「表現し」「振り返る」なかで、深く理解しながら自分を磨く。</p>
--

## III 使命・存在意義（ミッション）

<p>本校は、児童が「自分らしさ」を認め合える学びの場を提供し、ともに学び合う教育活動を推進することで、児童に生きる力（資質・能力）を育むことを使命とし、学校と家庭・地域が連携・協働し、三和の材（人・もの・こと・課題）を活用した学びを充実させることで、地域文化の継承やふるさと三和（三次）に誇りを持つ子供を育てる。</p>
---

## IV 重点事項（努力点）

<p>【三和小・中学校で9年間を通して形成する資質・能力と＜重点＞】</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・知識を生かし深める力（知識・理解） &lt; 概念的理解 &gt;</li><li>・ともに考え、伝え合う力（思考力・判断力・表現力等） &lt; 表現力 &gt;</li><li>・自ら関わり学び続ける力（学びに向かう力・人間性等） &lt; 自己調整力 &gt;</li></ul> <p>【努力点】</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・学校は、児童が自己調整力を発揮し、主体的・対話的で深い学びを通して基礎的・基本的な学力を身に付けるように学習環境を創意工夫する。</li><li>・学校は、児童が「安全・安心」に過ごせる場、自他を大切にして学び合う場になるように、特別支援教育の視点に立った教育環境づくりに努める。</li><li>・学校は、児童が自己指導能力を培うように、特別活動等の充実に努める。</li><li>・学校は、児童が基本的な生活習慣の確立と健康や体力を改善する実践力・判断力を伸ばす場とする。</li><li>・学校は、CSの取組を通して小中一貫教育の充実に図り、学校運営協議会と連携して9年間を見通した教育活動を推進し、地域とともにある学校づくりに努める。</li></ul>
---

## V 中心価値・行動規範

<p>○教育の原点『児童は、私達の姿を見て育ちます』 熱意を持って事にあたり、誠意を持って児童に接し、創意を持って指導に臨みます</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・使命：私達は、児童を守り育てます。</li><li>・遵法：私達は、法令を遵守し、職務に専念します。</li><li>・公正：私達は、不祥事を許しません。</li><li>・公開：私達は、地域とともにある信頼される学校にします。</li></ul>
--

## VI 現状分析

### 【学力】

#### ①学力定着状況

市学力到達度検査結果：全国平均以上の項目数（3年～6年国語・社会・算数・理科）

結果	令和4年度	令和5年度	令和6年度
全国平均以上	13/16学年（約81%）	13/16学年（約81%）	14/16学年（約87%）

全国学力調査 「通過率の本校・広島県・全国の経年比較」（国語・算数）

対象	令和4年度		令和5年度		令和6年度	
	国語	算数	国語	算数	国語	算数
本校 <small>（比全国）</small>	71%(+5.4)	64%(+0.8)	67%(±0)	53%(-9.5)	69%(+1.3)	62%(-1.4)

○自己調整力の育成に焦点化した授業改善が有効であった。

▲学習定着状況の個人差が大きい。

#### ②児童アンケート 「主体的・対話的で深い学び」の肯定的回答の割合

年度	肯定的回答	目標値	到達度
令和4年度	87%	80%	+7P
令和5年度	73%	70%	+3P
令和6年度	77%	80%	-3P

○令和6年度は目標値を3P下回ったが、前年度よりも向上しており、評価シートを活用した学習により、児童の主体的な学びへの意識は高まってきたといえる。

▲評価シートを自分の学習のために積極的に活用できるものに改善していく。

#### ③学習の様子 「評価シートの記述」

○児童の振り返りから、「評価シート」の開発・活用及び「やってみタイム」「学びタイム」等、自己調整力の育成に焦点化した取組の成果がみられた。

▲学習への自己肯定感が低く、主体的に学習することが難しい児童がみられる。

### 【生徒指導状況】

#### ④生徒指導上の諸課題

項目	令和4年度	令和5年度	令和6年度
暴力	1件	0件	4件
いじめ	0件	0件	2件
不登校	2人	3人	0人

○昨年度不登校だった児童が登校するなど、児童は概ね安心して登校している。児童の思いやつぶやきを大切にされた学級経営や授業づくりの成果といえる。

▲暴力行為やいじめの主な要因として、語彙が少なく表現が単一で思いを的確に伝え合うことが不十分であることや感情コントロールが未熟なことが挙げられる。豊かな表現力の育成が急務である。

### 【健康・体力】

#### ⑥体力向上 新スポーツテスト結果・全国平均以上の項目数（3年～6年男女計12項目）

年度	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20m シャトルラン	50m走	ソフトボール 投げ
令和4年度	12/12	-	8/12	-	-	6/12	4/12
令和5年度	12/12	9/12	10/12	7/12	9/10	10/12	5/10
令和6年度	7/12	9/12	11/12	10/12	8/12	10/12	6/12

○特に「投力」「握力」に課題があったが、取組を継続することで、2回目の計測では全国平均以上の項目が81%となり体力が向上した。

▲バランスよく体力が向上するように、遊びや運動を継続する取組を工夫する。

### ⑦健康の状況

- ▲基本的な生活習慣の確立には一定の成果が見られるが、メディアコントロール意識が低く、就寝時刻が遅いことで睡眠の質や量に課題がある。齲歯の治療率も継続課題である。

### 【信頼される学校づくり】

#### ⑧保護者アンケート 「満足度」「信頼度」の肯定的回答の割合

年度	肯定的回答	目標値	到達度
令和4年度	97%	85%	+12P
令和5年度	97%	85%	+12P
令和6年度	95%	90%	+5P

- 保護者からは、概ね信頼を受けている。
- ▲学校や教職員の児童理解への不安を抱いている保護者が、少なからずいる。引き続き、児童の様子を周知し、保護者の思いを受けとめるとともに児童の育成を図る。

### ⑨CSの推進状況

- 保護者や運営協議委員による学校参画の取組が進みつつある。
- 運営協議委員とめざす児童の姿について熟義が進んだ。
- ▲「学校の様子、児童の学びの様子が地域には見えにくい。」と指摘を受けた。情報発信及び地域の教育力を生かす教育活動が不十分である。

### ⑩時間外在校時間

- ▲全体的には退校時間を意識した業務を行っているが、時間外在校時間の短縮に取り組む必要がある。業務の割振、時程、教育課程の見直しと同時に、CSサポーターを活用した業務軽減を検討する。

Ⅶ 中期経営目標及び短期経営目標

担当	中期経営目標	短期経営目標	目標達成のための方策	評価指標	目標値	
確かな学力の育成	教務部・研究部	自己調整力の育成	A&Fに基づき ①自己調整学習の3要素を高めながら、評価の視点をもたせ、学ぶ価値を問う指導の工夫 ②「学びタイム」「スキルタイム」の計画的実施	・児童アンケート該当項目の肯定的回答の割合 「自己調整」「ICT活用」「主体的・対話的で深い学び」 ※参考資料 ・評価シート開発（算数科） ・評価シートの記述	80%	
			③学びを支える読書活動の充実	・児童アンケート該当項目の肯定的回答の割合 「読書が好き」「読書量」「読んだ本について対話」等	80%	
			(2) 豊かな表現力の育成。 A&Fに基づき算数科で ①「言葉・式・図」を関連付けて問題解決過程を伝え合う数学的活動の充実 ②考えを表現する「ノート」指導の工夫 ③学力調査を活用した実態把握、指導改善による学力の向上	・市学力到達度検査全国平均以上が16項目中12項目以上 ※参考資料 ・算数科はすべての学年で全国及び市平均以上 ・児童アンケート「表現力」「ノート」	75%	
豊かな心の育成	生活部	自己指導能力の育成	(3) 自己決定の場や自己存在感を大切にしたい共感的な人間関係の育成。 ①特別支援教育や発達支援の視点に立った共感的な児童理解 ②見通しを持って、自己選択し、自分の役割を果たす場面の設定 ③構成的グループエンカウンターなどを取り入れた人間関係形成能力を育む集団活動や、体験的な活動と話し合い活動の充実	・児童アンケート該当項目の肯定的回答の割合 「自分のよいところがある」「友達の良いところを見つけた」 「自分の行動を自分で決めて果たしている」 ※参考資料 ・学習の振り返り記述、職員の見取り	80%	
健やかな体の育成	生活部	自らの成長・健康の保持増進に取り組み む子供の育成	(4) 基本的な生活習慣の確立と、健康や体力向上の実践力・判断力の育成。 ①体力づくりの実施・改善 ②生活習慣の確立とメディアコントロール ③健康・食に関する指導の充実	・新体力テスト全国平均以上の項目の割合 ※参考資料 ・個人の経年比較 ・児童アンケート（運動・健康） ・生活づくり、メディアコントロールチャレンジの結果 ・健康・食に関する校内活動の状況	80%	
信頼される学校づくり	総務部・情報担当	保護者や地域・関係機関と協働する学校	(5) 地域とともにある学校づくり ①地域の材（人・もの・こと・課題）とつながる開かれた教育課程 ②学校便り、学級便り等での積極的な情報発信	・保護者アンケートの肯定的回答の割合 「満足度」「信頼度」	90%	
			(6) 働き方改革の推進	①働き方改革・業務改善の推進	・教職員アンケート肯定的回答の割合 「働きがい」	85%
				②不祥事防止研修の月1回以上実施	・教職員の不祥事0	100%

※A&F：「アクティビティ型授業」及び「授業者のファシリテーション」を工夫した主体的・対話的で深い学び